

株式会社アルファシステムズ

第43期報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで



●株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げますとともに、平素よりのご支援並びにご愛顧に対し、深く御礼申し上げます。

第43期は、主力の通信事業者向けシステム開発以外の分野が大きく伸長し、3期連続の増収となりました。特に企業向け情報システム開発を含む「オープンシステム」事業区分の売上高の伸びは著しく、前年同期比で36.3%の増加、5年連続の二桁成長となりました。

国内のIT市場は拡大基調が続いています。経済産業省が毎月発表している特定サービス産

業動態統計における「情報サービス業」全体の売上高は20カ月連続で増加を続けています。この状況はしばらく継続するものと予想しており、当社といたしましてもこの商機をしっかりと捉えて持続的な成長と安定した収益基盤の構築を進めてまいります。

当社は、本年4月19日に東京証券取引所市場第一部上場15周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位の温かいご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

第43期の配当金につきましては、期末配当に1株当たり20円の東証一部上場15周年記念配当を加え、1株当たり60円（中間20円、期末40円）とさせていただきます。

また、より多くの株主様に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的に、本年より株主優待制度を導入いたしました（詳しくは裏表紙をご覧ください）。

引き続き、株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

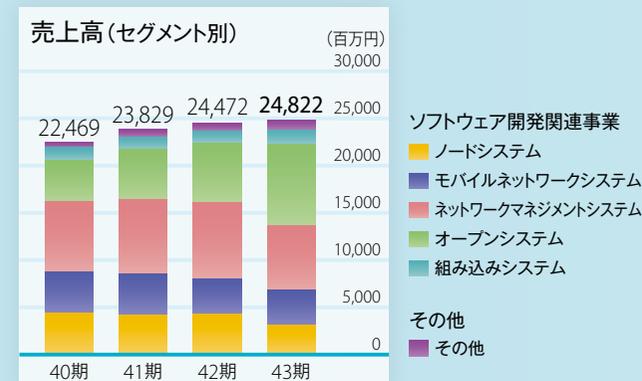
代表取締役社長 **黒田 憲一**

決算ハイライト

当期の事業環境と業績

当事業年度におけるわが国の経済は、企業収益の改善と公共投資に支えられ、回復基調となりました。しかしながら、輸出や生産の動きは弱く、消費税率の引き上げや円安の進行に伴う個人消費の低迷により、景気回復のペースは緩慢なものとなりました。

情報通信業界では、最先端のICTがスマートエネルギー、スマートモビリティ、ヘルスケア等様々な分野でイノベーションを促進しており、企業はこうした次世代サービスへのIT投資を



拡大させております。また、通信事業者はスマートデバイスやクラウドサービスの普及に伴うネットワークトラフィックの増加への対応や、ICT基盤の高度化に向けた設備投資を進めております。一方、通信事業者における設備投資の全体は、次世代ネットワーク（NGN）の構築やネットワークの光化投資の一巡により減少傾向にあり、当社にとっては厳しい事業環境が続きました。更に、ソフトウェア開発事業においては、短納期化や低コスト化の要求が引き続き強さを増しており、これら市場の変化にいかに対応していくかが課題となっております。

このような事業環境の中で、当社は投資の拡大が続いているオープンシステム分野へ積極的に展開し、受注の拡大を図ってまいりました。また、リスクマネジメントの定着に取り組み、不採算案件発生を抑止に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は24,822百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は1,988百万円（前年同期比6.7%減）、経常利益は2,080百万円（前年同期比6.7%減）、当期純利益は1,753百万円（前年同期比36.2%増）となりました。



事業概況

単位：百万円

ノードシステム

次世代ネットワーク（NGN）関連及び伝送システム関連の売り上げが減少いたしました。

3,117
前年同期比
27.3%減

モバイルネットワークシステム

第3世代移動体通信システム関連及び携帯端末関連の売り上げは減少いたしましたが、第4世代移動体通信システム関連の売り上げが増加いたしました。

3,721
前年同期比
1.0%増

ネットワークマネジメントシステム

固定網インフラ関連及びモバイル網インフラ関連の売り上げがともに減少いたしました。

6,795
前年同期比
16.3%減

オープンシステム

金融業向けシステム関連及びインターネットビジネス関連の売り上げが増加いたしました。

8,632
前年同期比
36.3%増

組み込みシステム

車載システム関連の売り上げは減少いたしましたが、複合機関連及びスマートメーター関連の売り上げが増加いたしました。

1,535
前年同期比
21.4%増

その他

自社製品関連の売り上げが増加いたしました。

1,020
前年同期比
29.7%増

● 当社を取り巻く事業環境

通信市場の動向

通信市場では、スマートフォンの普及やソーシャルメディア、eコマースの拡大に伴うデータ通信トラフィックの爆発的増加をはじめとして、様々な変化が通信インフラのさらなる高速化・大容量化・低価格化ニーズを高めています。

ICTインフラ全体を ソフトウェアで制御する時代へ

通信業界では、NFV (Network Functions Virtualization: ネットワーク機能の仮想化) と呼ばれる新しい技術でネットワークの進化を主導しようという動きがあります。NFVはネットワークを制御する通信機器の機能をソフトウェアで実装し、機器自体は汎用的に使われているコンピュータ (汎用サーバ) を利用しようとするもので、ネットワーク構成の柔軟性の確保、機器利用の効率化、管理コストや消費電力の低減が期待されています。

現在では、ほぼすべてのITシステムが他システムと通信で連携しながら機能を実現しています。NFVによりネットワークのかなりの部分がソフトウェアで制御されるようになるわけですので、まさにICTインフラ全体がソフトウェアで制御される時代が到来しようとしています。

モノのインターネット

携帯電話やスマートフォンの普及は、ネットワークに接続する端末 (機器) を爆発的に増加させました。現在、これらにかわってネットワークの利用機会をさらに拡大させようとしているのがIoT (Internet of Things: モノのインターネット) と呼ばれる技術です。IoTはこれまでのようなパソコンやプリンタといったIT関連機器だけでなく、世の中の様々なモノをインターネットに接続し、自動認識・自動制御・

遠隔計測を行うことで、ICTの活用領域を拡大し、安心・安全でより快適な暮らしを実現します。そしてこのためには、通信システムの大容量化はもちろん、それを実現するための様々なITシステムの開発が必要になってきます。

通信事業者の動向

通信事業者は、音声収入の減少や料金定額化の普及により、新たな収益確保が必要な状況にあります。次のような動きは、当社にとっても事業機会となります。

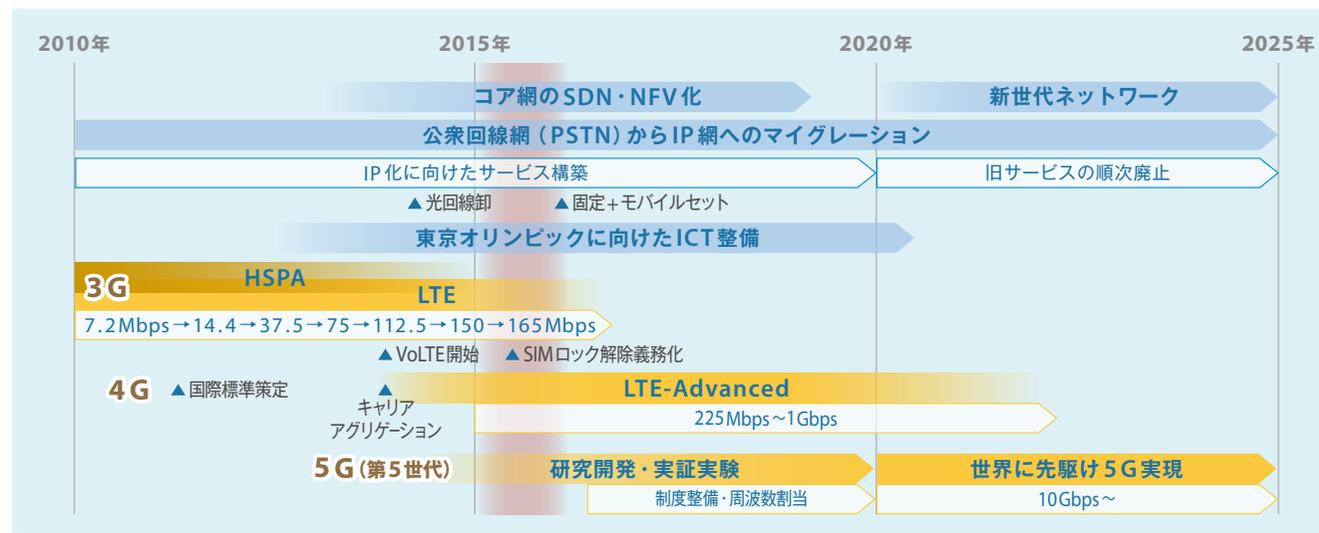
①NTTが光回線のサービス貸出し (回線卸売り) 事業を開始
NTTから回線を借りて通信事業に参入する企業が続出し、市場活性化へ。NTTドコモもNTT光回線とドコモ携帯のセット販売を開始。

②NTTが東京オリンピックのゴールドパートナーに決定
オリンピックに向けたインフラ整備やサービス開発投資積極化へ。

③NTTドコモが2020年までに次世代 (第5世代) 移動体通信方式の商用サービス開始の計画を発表

これらの商機を確実に捉え、市場でのプレゼンスを高めてまいります

▶ 通信関連の主な動向



● 当社の強み

圧倒的な支持を得るソフト開発力 40年以上に及ぶ主要顧客との信頼関係、顧客満足

当社は、上質なサービスの提供により競争優位を確立し、持続的な成長と安定した収益基盤を構築してまいります

■ 高い信頼性

通信事業者のシステムは、企業や社会の基幹を担うため特に高い信頼性が求められます。この品質レベルを「キャリアグレード」と呼びます。当社は創業以来、通信システムの開発に携わってきており、キャリアグレードのシステム開発を基準とした開発スタイルを確立しています。

■ ときどきお助けマン

ITシステムの開発プロジェクトは計画どおりに完遂することが大変難しいものです。わずかな管理不足でプロジェクトは簡単に問題化し、行きづまり、開発が進まなくなります。当社は、このような問題化したプロジェクトの立て直しや支援をお客様から依頼されるケースが少なくなく、またお客様の期待に応える成果を上げています。

■ 豊富な経験

長年に渡る通信サービス・通信システム・端末システム開発の経験から、低レイヤのファームウェア開発から上位レイヤのアプリケーションまでの業務知識と開発技術を蓄積しています。ここで培われた開発技術は、業種の異なる組み込みシステムやオープンシステムの分野でも十分に通用することから、事業領域のシフトや新規分野拡大の強力な武器となっています。

■ 揺り籠から墓場まで

大規模な開発プロジェクトは、多くのソフトウェア企業が参加し、工程ごとにいくつもの作業を分担して進めます。プロジェクト終了後には維持管理のフェーズに移り、小さな機能追加が続きます。このようなシステム開発のライフサイクルにおいて、プロジェクトに従事する人員規模は、工程ごとに大きく変動していきませんが、当社のエンジニアは維持管理フェーズまで従事することをお客様から期待されることが多く、お客様にとって「なくてはならない存在」として支持されています。

■ ローマの重装歩兵軍団

当社には、プロパー（正社員）による開発体制に拘る企業文化があります。このプロパー主義は、ノウハウの蓄積・継承、企業文化の形成、顧客の信頼獲得、チームワークの醸成に大きな役割を担っています。2,200名を超えるプロパーエンジニアの動員力、何があるかと最後までやり抜くプロジェクト完遂力は、お客様から高く評価されています。

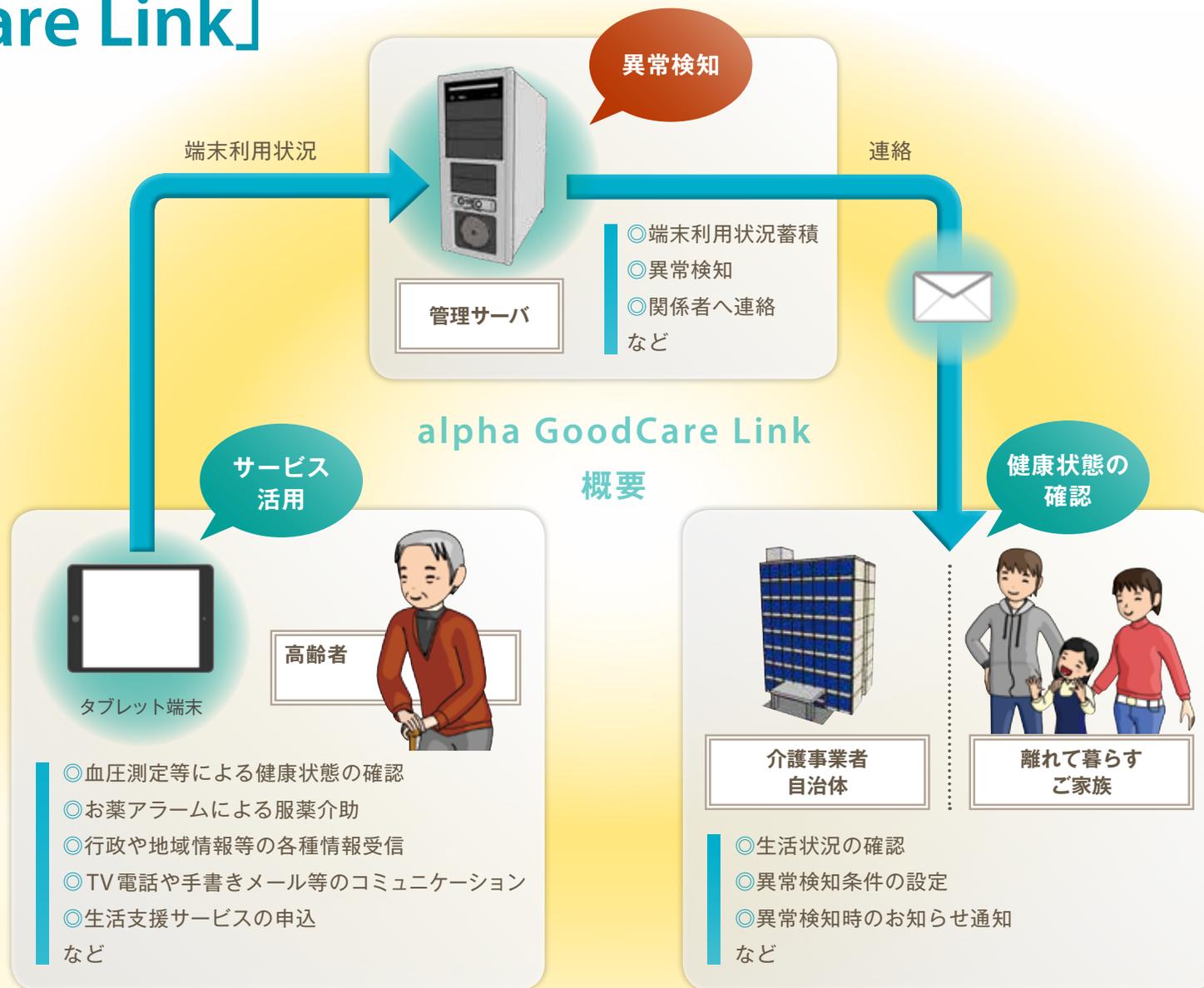
これらの強みが評価され、新規のお客様のほとんどに
リピーターになっていただけており、
取り引きの継続や拡大が実現しています。

● アルファシステムの製品ソリューション

「alpha GoodCare Link」

「alpha GoodCare Link」 とは

高齢者宅や施設に設置したタブレット端末を利用して、高齢者の安否確認・情報伝達・生活支援等を実施する介護事業者および自治体向けシステムです。本システムは、介護事業者や自治体がケアサービスとして行っている高齢者の健康状態の確認やコミュニケーション、服薬介助など日々の業務をサポートし、業務負担を軽減することができます。



主な サービスメニュー



「alpha GoodCare Link」が提供する
主なサービスをご紹介します。

当社は、高齢者の方々が『ご自分で』
お使いいただくことが、もっとも重要
と考えてきました。そのため実際に高
齢者の方々にご協力いただきながら
検証を繰り返し、高齢者がご自分で
操作し、継続して使っていただくた
めの機能や、操作方法を完成させてま
いりました。

システムのご利用状況は、ご本人と
介護福祉士やご家族で共有し、高度
なサポート環境を構築することができ
ます。

日々の 身体情報の記録

バイタルサインとも呼ばれる身体情報の継続収集は、体の変化に気づくためにも非常に重要です。alpha GoodCare LinkはBluetooth® やNFCに対応した血圧計や体重計を用いてワンタッチで測定結果を記録し、異常値を検出すると介護士の携行するタブレット画面に通知したり、メールを送信し、早期に異変に気づくことができます。また、測定時刻にメッセージ画面と音声アナウンスでお知らせし、高齢者でも十分利用可能な工夫がされています。

お薬通知

服薬介助は介護福祉士の方々にとって重要なお仕事です。alpha GoodCare Linkは服用薬の情報、服薬時刻をメッセージ画面と音声アナウンスでお知らせし、記録も画面にワンタッチするだけ。服用の動機づけだけでなく、介護福祉士が薬の飲み忘れをすぐに気付くことができます。

コミュニケーション

ボタン一つで登録した相手にテレビ電話をかけることができます。面倒な接続操作などはありません。また、手書きの文字でメールを送ることができるなど高齢者にやさしいコミュニケーション手段を提供しています。

情報配信

自治体等から配信される情報、地域のイベント情報、各種ニュースなど、高齢者に役立つ情報をタブレット画面上への表示に加え、音声でも読み上げます。

娯楽

タブレットの特長を活かし、クイズ形式の頭の体操、音声小説など、高齢者がお一人でも楽しむことができるコンテンツを提供することが可能です。

お知らせ

株主優待制度 導入に関するお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度の導入を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1 対象となる株主様

毎年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様を対象として、株主優待を実施いたします。

2 株主優待制度の内容

当社の壁掛けカレンダーを12月中旬(予定)にお送りいたします。

3 株主優待制度の開始時期

平成27年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様を対象に開始いたします。

今後も、企業価値向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、ますますのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話：0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 公告の方法

東京証券取引所
電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.alpha.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

ご注意

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **株式会社アルファシステムズ**

〒211-0053 神奈川県川崎市中原区上小田中6丁目6番1号
本社(中原テクノセンター1号館)
電話：044-733-4111(代表) Fax：044-739-1100
<http://www.alpha.co.jp/>

